

一月三〇日

十時研究室、森田群馬県左官連合会会長、長谷川哲ちゃん共に来室。伊豆の件、その他打合わせ。十一時半、青森県下田町精神障害者はくちよう家族会会長山崎市松氏来室。はくちよう会の村づくりを依頼される。面白い仕事になりそう。十四時五反田へ、十五時TRCビル、トモコーポレーション社長、新木場プロジェクト打合わせ。十七時友岡清秀君と猪苗代プロジェクト打合わせ。十九時夕食を社長、清秀君と共にする。二十時四〇分世田谷村に戻る。

微風だが追い風を捉えているのを実感する。ここしばらくズーッと向かい風だった。この風で走りきってみるか。まだ早いか。潮時というのが難しい。上海の風がどう吹くか。

一月三十一日

八時起床。庭の白梅の花が美しい。うっすらと黄色がかって品格がある。やっと花に眼がゆく時間があいた。世田谷村のウサギ、ツトムも急速に人間になんできた。足許にじゃれつくようになった。前足でトントンと人の足をたたくまでになった。ツトムという名は、なんだか顔付がタレントのラビット関根に似ているからだという。関根の方がラビットに似ているんじゃないのかと思っただが、マア理屈は言わないのである。十一時研究室。ピースウインズ・ジャパンの女性スタッフと会う。しっかりした女性で、

「ひろしまハウス」建設の力になってくれるかも知れない。ひろしまハウスプロジェクトは三好シュータクさんに担当してもらうので、良いコンビになるだろう。十二時半難波先生来室。十三時大隈講堂公開講評会へ。三年生の最終課題のクリティクに難波先生を誘ったのは、ここ数年で最良の学年だから、早稲田の最良のモノを見ていただきたいと考えたから。今年の卒計は他人に見せられるモノではない。クリティクは面白かった。良いモノが並べば、こちらに乗るのだ。今年の三年生は最後まで投げずにキチンとついてくるスピリッツがあった。この学年にはしっかり合うつもり。こういう成果を得た学生達の力と感性に見合った社会・建築の問題を構想しなければならぬのだ。十九時過修了。二〇時研究室に戻り、難波先生とワインを少々。雑談。食事しようと言う事で職安通りの韓国料理屋へ。久し振りに気分も良く、難波さんと青山のカツのところへ寄り、深夜帰宅。

二月一日 日曜日

今年の卒論のテーマを決める。久し振りに優秀な学年のようだから、本気で行こう。研究室のテーマと言うよりも、私のテーマを卒論のテーマとする。

開放系技術・デザインの研究

マイノリティの建築への基礎的研究

モバイル建築の基礎的研究

現代建築デザイン思潮研究

現代住宅デザインの研究

生命と共同体の設計・研究

上海の研究

ブツディズムと建築概念

栄久庵憲司論を書くため、道具論その他読む。レヴィ・ストロ
ーヌ悲しき熱帯再読始める。こつこつ本は一回位読んでもわから
ないからなア。

二月二日

十一時研究室。十六時前迄雑打ち合わせ。十七時院生の仕事を
見て絶句。怒り出しそうになっていて自分をなだめ、一月三十一
日の今年の三年の作品を見ると言つ。研究室のスクリーンに三年
生の仕事を写し出して、勉強しろと言つ。設計教育には共通に想
定されるべきハードルがある筈で、教える方も、学ぶ方も気持ち
の中にそのハードル（水準）は共有されていなければならない。